

2022年度一般社団法人日本生理学会第2回理事会議事録

日 時： 2022年12月18日（日） 13:00-17:30

場 所： WEB会議（ZOOM）ホスト会場：（一財）国際医学情報センター

[出席者]

理事長 石川義弘（議長）

理 事 赤羽悟美、成瀬恵治、平野勝也、藤井 聡

（WEB）

荒田晶子、安西尚彦、伊佐 正、上田陽一、内田さえ、尾仲達史、尾野恭一、岡部幸司、岡村康司、北澤 茂、久場博司、久保義弘、鯉淵典之、佐藤元彦、椎橋実智男、須田悠紀、勢井宏義、竹森 重、田中真樹、樽野陽幸、富永真琴、西谷友重、橋谷 光、花田礼子、林由起子、藤原祐一郎、船橋利也、堀田晴美、南沢 享、虫明 元（計35名）

監 事

（WEB）柿沼由彦、渡部文子

陪席者

（WEB）日比野浩、神作憲司、福田敦夫、渡辺賢、倉智嘉久、佐久間康夫、丸中良典、加藤 総夫、小西真人

[欠席者]

理 事 富澤一仁、満田憲昭、宮田麻理子、山中章弘、横山詩子、大場雄介（計6名）

監 事 河合佳子

理事定数41名に対し過半数の35名の理事および2名の監事が出席し、定款により、本理事会は適法に成立した。

I. 報告及び協議事項

1. 理事長挨拶

定刻となり開催する旨宣言された。定款に従い、議事録署名人は理事長および出席した2名の監事、柿沼由彦、渡部文子とする。またWEB会議での議決権や意見は、ZOOMの「挙手」機能あるいは音声にて表明するよう案内した。

2. 庶務報告（石川理事長）

以下2点について報告がなされた。

- 1) 特別会員・名誉会員、理事および運営組織は資料の通りである。
- 2) 評議員数は年々減少傾向であること、地区別の理事数と評議員数を比較すると「北海道」ならびに「東北」地区で評議員が少ないため、評議員の推薦を積極的をお願いしたい。

3. 財務報告（成瀬副理事長）

以下2点について報告がなされた。

- 1) 2022年10月末時点の予算執行状況には、①JPS出版代・送料、②大会抄録集が11月以降に支払い予定のために反映されていない。
- 2) 2023年度予算案には①受取会費の上乗せ、②国際交流支出（KOJACH他）の計上、③100

周年記念事業費の計上の、3点を反映している。

II. 審議事項

1. 2022年度予算執行状況

成瀬財務担当副理事長より報告があり、本理事会に諮ったところ異議なく承認された。

2. 2023年度予算案

成瀬財務担当副理事長より、受取会費は入会者数の増加を反映して昨年より上乘せしたこと、経常費用として①国際交流支出（KOJACH 他）に130万円を計上、②100周年記念事業費に積立分も含め1,000万円を計上、また③委員会活動費はWeb会議にて旅費の支出が減少したことを受けて150万円に引き下げたこと、最終的な正味財産期末残高は資料のとおりであることが説明され、承認された。

3. 定款の改定

現行の役員選考に即した内容への改定案について本理事会に諮ったところ意義なく承認された。

4. 2022年度義援金配分

事務局より説明があり、以下の者を対象として実施することを本理事会に諮ったところ、異議なく承認された。PSJのHPへ掲載、また京都大会のHPでの案内を依頼し、会員への周知を図る。申請書の提出方法は、メール添付でも可とする。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活や研究に支障が生じている国内外の学生会員
 - *学生会員（臨時）は含まない
- ・所属団体・自宅のいずれかが激甚災害に見舞われた以下の地区にある正会員（評議員、一般、学生）
 - 青森県・宮城県・山形県・新潟県・石川県・福井県・静岡県・山口県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

5. 2022年度終身会員選考漏れ申請者への対応

事務局の手違いにて、2022年度終身会員候補者選考（2023年度より終身会員）に申請者1名が漏れていたことが判明した。申請者に落ち度はなく2023年3月社員総会の承認を得たのち、2023年度より終身会員として遡ってお認めいただきたい旨が事務局より説明され、本理事会に諮ったところ意義なく承認された。

III. その他

1. 中国四国地方会次世代研究者表彰について

平野副理事長より、中国四国地方において発表者への表彰とは別に次世代研究者表彰規約を作成して実際に選考し表彰したことが報告された。石川理事長より将来を担う若手の発掘につながる取り組みであると考えている旨の説明がなされ、今後地方会における各種の表彰における賞金費用については学会負担とすることを本理事会に諮ったところ意義なく承認された。具体的な額については今後検討していくこととなった。

2. 日本生理学会による図書館機能の補完について

一評議員より、大学図書館においてジャーナル購入中止が相次いでおり、論文を購入するためにはコピー依頼するか、雑誌社に数十ドル支払ってPDFを手に入れるしかないため、学会による会員向けサービスの検討の申し出があったことが報告された。

国立大学及び公私立大学ではコンソーシアムを形成し整備に努めているところであり、そのような取り組みを知らないのではという意見がだされた。今後継続して情報収集をしていくこととなった。

3. 評議員推薦時の会員歴特例について

評議員推薦については特例を認めているので、積極的に推薦していただきたい旨が石川理事長より呼びかけられた。

4. 学会ホームページ「委員会に関する規約等」への掲載について

委員会に関する規約等一覧が提示され、各委員会において一覧に掲載されていない規約がある場合には事務局へ連絡いただけるよう周知された。

以上